

## 第43回産応協セミナー（旧スーパーコンピューティング・セミナー）開催報告

2018年度第3回目（通算第43回）の産応協セミナー（旧称：スーパーコンピューティング・セミナー）は、「材料・化学分野における将来のシミュレーション技術の展望」をテーマに取上げ、2月18日（月）にワイルド会議室四谷三丁目において開催されました。

今回は、産応協が先に取り纏めた「産業シミュレーション・ロードマップ」でも取り上げた、材料・化学分野における将来展望を、有識者の先生から改めて纏めてお話を伺いたい、というWGメンバーの思いから、このテーマの選択となりました。

当日の参加者は、合計40名（講師5名、一般参加者27名〈正会員企業13名、非正会員企業14名〉、産応協委員2名、セミナーWGメンバー4名、事務局2名）でした。

今回のセミナーのテーマは、分野を限定したテーマであったため、参加人数は絞られましたが、その分参加者の関心度は高く、講師の方との間で熱心な質疑応答が繰り広げられました。

### 《プログラム》（講師の方の敬称は省略させていただきます）

- 複雑な凝集系化学反応の分子シミュレーション技術の現状と将来展望  
名古屋大学大学院情報学研究科教授 長岡 正隆
- ソフトマテリアルのシミュレーション技術の現状と将来展望  
名古屋大学工学研究科教授 増淵 雄一
- 表面界面系の励起状態計算の現状と将来展望  
東京大学大学院工学系研究科特任研究員 山下 晃一
- 有機半導体材料における大規模量子計算とデータ駆動科学の融合  
鳥取大学大学院工学研究科機械宇宙工学専攻准教授 星 健夫
- 軌道エネルギーにもとづく新しい反応軌道論とその展望  
国立研究開発法人 物質・材料研究機構 NIMS 特別研究員 常田 貴夫

